

4 部局進行管理

(1) 部局進行管理票B

平成19年度 実績報告

市民政策部長
岸本 泰三



部局名	市民政策部		
正規職員数	所管課数		
365 人	9 課	5 室	62 係

1. 所掌事務

(1) 総合企画および総合調整に関する事項	(2) 男女共同参画に関する事項
(3) 地域振興その他市民生活に関する事項	(4) 戸籍および住民基本台帳に関する事項
(5) 人権啓発に関する事項	(6) 文化に関する事項
(7) 国際交流に関する事項	(8) スポーツに関する事項
(9) 美術館に関する事項	(10) 市民文化センターに関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
	目標達成度		
① 新財務システムの再構築に取り組みます。 ② 合併地区において地域コミュニティ組織を構築し、地区公民館のコミュニティセンター化を進め、指定管理者制度を導入します。また、各種団体への補助金等の一元化を図るとともに、集会所新築等補助金および防犯等設置補助金の見直しを進めます。 ③ NPO等との協働を推進します。 ④ 平成20年度から、やすらぎ苑に指定管理者制度を導入します。 ⑤ 住民基本台帳カード対応型の自動交付機を導入するとともに対象証明の拡大に取り組みます。 ⑥ 平成20年度から、庵治文化館に指定管理者制度を導入します。 ⑦ (財)高松市文化芸術財団の指定管理者制度の見直しに当たっては、真に公立ホールの活性化につながるような見直しを検討します。	取組項目 56件		
	【取組・進捗状況】 実施済 21件 着手済 29件 未着手 2件 中止 未到来 4件	【効果額】 歳入 749千円 歳出 79,393千円 計 80,142千円	【目標達成度】 達成 23件 おおむね達成 13件 ある程度達成 10件 やや下回っている 3件 かなり下回る 3件 全く出来なかった
	成果と課題		
	【成果】 ① 旧高松市内41コミュニティセンターに対して、指定管理者制度を導入し、地域のコミュニティ協議会に管理運営を委託することにより、より一層地域に密着した市民サービスの提供を図りました。 ② 地域の各種団体に対する補助金等について、地域ふれあい交流事業、地域で高齢者を支えあう事業および地区文化祭事業の3事業の補助金を「地域まちづくり交付金」として一元化しました。 ③ 自治会集会所新築補助金について、優先度を判断する基準を設定し、また、自治会集会所改修補助金について、補助対象事業の見直しを実施しました。 ④ やすらぎ苑の指定管理者導入に向けて、高松市斎場条例の改正や公募説明会の開催等を行いました。平成20年度から指定管理者制度を導入します。 ⑤ 市民サービスの向上や事務処理の効率化のため戸籍事務の電算化を図り、一次計画の現在戸籍、戸籍附票のシステムは平成19年1月20日から稼働、二次計画の除籍・改製原戸籍の電算化は、19年11月26日から稼働しました。		
	【課題】 指定管理者制度の導入については、指定管理者として妥当かどうか等の検討を行うなど、目標達成度が低い項目もありますが、今後、目標達成に向け、実効性が上がるよう取り組む必要があります。		
	今年度(20年度)の取組方針		
	地方分権時代の本格的な到来により、これまで以上に自主自立のまちづくりが必要となっています。地域自らのまちづくりを推進するため、コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の各種事業・団体等に対して交付される補助金を地域コミュニティ協議会に一元化して交付することを進めるとともに、地域コミュニティ協議会にコミュニティセンターの管理運営を委託するなど、地域コミュニティの自立・活性化を支援するほか、新たに導入した協働推進員制度を活用し、参加・協働を進めるコミュニティを軸としたまちづくりを推進します。また、文化施設等の効率的運営に努め、地域社会の活性化につなげてまいります。		

平成19年度 実績報告

総務部長

石垣 佳邦



部局名	総務部			
正規職員数	所管課数			
86 人	7 課	2 室	15 係	

1. 所掌事務

(1) 秘書および渉外に関する事項	(2) 議会および市の行政一般に関する事項
(3) 文書に関する事項	(4) 職員の人事、給与および福利厚生に関する事項
(5) 事務管理に関する事項	(6) 防災および危機管理に関する事項
(7) 情報化の推進および統計に関する事項	(8) 広聴および広報に関する事項
(9) 他の部の主管に属しない事項	

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
<p>【重点項目】</p> <p>① 効果的かつ効率的な行政運営と財政健全化の面から、事務事業の見直しやアウトソーシングの積極的な推進等により、職員数の適正化を図ります。</p> <p>② 職員一人ひとりが改革の必要性を認識し、実践につなげるよう、研修制度の充実などにより、職員の意識改革と育成を推進します。</p> <p>③ 人事給与等の状況や「市長への提言」の内容の公表、よくある問合せの回答集の作成と公表などにより、適時適切な情報提供に努めます。</p>	目標達成度		
	取組項目 59件		
	<p>【取組・進捗状況】</p> <p>実施済 42件</p> <p>着手済 16件</p> <p>未着手</p> <p>中止</p> <p>未到来 1件</p>	<p>【効果額】</p> <p>歳入 5,436千円</p> <p>歳出 672,238千円</p> <p>計 677,674千円</p>	<p>【目標達成度】</p> <p>達成 19件</p> <p>おおむね達成 19件</p> <p>ある程度達成 8件</p> <p>やや下回っている 12件</p> <p>かなり下回る</p> <p>全く出来なかった</p>
	成果と課題		
	<p>【成果】</p> <p>○ 重点項目①</p> <p>・「高松市職員数の適正化計画」を策定するとともに、水道・消防部門を除き、89人を削減しました。</p> <p>○ 重点項目②</p> <p>・新たに公務員倫理研修や、女性職員エンパワー研修、住民と行政の協働研修を実施し、研修制度の充実を図りました。</p> <p>・職員の意識調査の実施や市民の意見を捉えるための新市民アンケートを実施し、その対応状況を情報開示するほか、さわやかサービス推進チームの提案による全職員共通のキャッチフレーズを掲載した啓発用プレートと胸章(ネーム)を一元化するなど、職員の意識改革に取り組みました。</p> <p>○ 重点項目③</p> <p>・職員数、給与、勤務条件等を公表するとともに、「よくある問合せ」「市長への提言」および「報道発表資料」の公表のためのシステムを構築し、平成19年12月から運用を開始しました。</p> <p>○ その他</p> <p>・財務会計システムの再構築に取り組みました。</p>		
	<p>【課題】</p> <p>平成19年度においては、概ね計画どおり実施できましたが、今後、目標の達成に向け、実効性が上がるよう取り組む必要があります。</p>		
	今年度(平成20年度)の取組方針		
	<p>① 「高松市職員数の適正化計画」に基づき、引き続き、職員数の適正化に取り組みます。</p> <p>② 人事評価制度の試行実施をします。</p> <p>③ 接遇については、さわやかサービス運動の施策推進を図り、市民アンケートの継続実施や市民サービスガイドの活用などにより、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>④ 財務会計システムの21年度からの一部運用開始に向けて、引き続き、再構築に取り組みます。</p> <p>⑤ 目標達成度の低い項目があった「事務事業の改革」「職員の意識改革と育成」などについて、目標達成に向けた取組みに努めるほか、実施に当たっては、実効性が上がるよう取り組みます。</p>		

平成19年度 実績報告

財務部長

大嶋 光晴



部局名	財務部・出納室		
正規職員数	所管課数		
204 人	7 課	2 室	22 係

1. 所掌事務

- (1) 市の予算, 税その他の財務に関する事項
 (2) 財産管理に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
<p>行政運営の体質を改善または行政運営を効率化するうえで、財務部の課題である次の項目を重点項目と位置付け、改革を進めます。</p> <p>① 市税の滞納整理の強化および収納率の向上を図るため、滞納管理システムを活用し、税負担の公平性の確保および「収入増対策」に取組めます。</p> <p>② 企画・予算・執行・決算・評価の一体化や会計事務の効率化、さらには、各種システムとの連携を図るため、「新財務システムの再構築」に取り組むとともに、公会計の整備、業務コストの公表など財務関係を始めた積極的な情報公開を行います。</p>	目標達成度		
	取組項目 50件	【取組・進捗状況】	【効果額】
		実施済 12件 着手済 37件 未着手 1件 中止 未到来	歳入 387,047千円 歳出 計 387,047千円
		【目標達成度】	
		達成 22件 おおむね達成 6件 ある程度達成 10件 やや下回っている 4件 かなり下回る 8件 全く出来なかった	
	成果と課題		
	<p>【成果】 平成19年度においては、50の実施項目のうち49項目に取り組んだ結果、概ね当初の目的を達成できました。 このうち、収入増対策として、口座振替の加入促進や休日・夜間の窓口開庁などにより市税収納率の向上に努めるなど、成果が得られました。 また、20年度当初予算編成過程や編成状況等の公開や市税状況の公表をホームページで行ったほか、20年度当初予算における補助金・交付金の交付先・金額等の公開(20年4月に実施)を検討するなど、積極的な情報開示の推進に努めました。</p>		
	<p>【課題】 未着手項目の「随意契約の見直し」については、施設管理委託業務などの見直しが未着手となっており、組織機構の再編により、工事と物品の契約担当課が一元化されたことを踏まえ、今後、工事契約の経験やノウハウを活用する中で、施設管理者等と連携しながら、見直すべき課題と問題点を把握し、具体的な改善方策について検討する必要があります。</p>		
	今年度(20年度)の取組方針		
	<p>未着手項目や効果額目標を下回る項目について重点的に取り組むとともに、着手済項目についても、引き続き成果と結果が得られるよう進行管理に努め、年間目標を達成します。</p>		

平成19年度 実績報告

健康福祉部長
香西 信行



部局名	健康福祉部			
正規職員数	所管課数			
851 人	12 課	3 室	54 係	

1. 所掌事務

- (1) 社会福祉に関する事項
(2) 社会保障に関する事項
(3) 保健衛生に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)	
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]	
<p>① 公民の役割分担の面から保育所の民営化を進めるとともに、総合老人ホームひぐらし荘の運営形態を見直し、民営化を検討します。</p> <p>② 外郭団体の自立化と市負担の抑制を進めるため、高松市福祉事業団の経営改善に取り組むとともに、高松市社会福祉協議会の自立化を推進します。</p> <p>③ 国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計および企業会計の効率的運営を図ります。</p>	目標達成度	
	取組項目 61件	
	<p>【取組・進捗状況】</p> <p>実施済 16件 着手済 45件 未着手 中止 未到来</p>	<p>【効果額】</p> <p>歳入 89,739千円 歳出 62,962千円 計 152,701千円</p>
		<p>【目標達成度】</p> <p>達成 21件 おおむね達成 25件 ある程度達成 8件 やや下回っている 6件 かなり下回る 1件 全く出来なかった</p>
	成果と課題	
	<p>【成果】</p> <p>平成19年度の目標効果額1億, 2,863万4千円に対し、決算見込で1億5,270万1千円、目標効果額に対して119%の効果額となっており、目標は達成しています。特に、保育所の民営化については、地元住民において、当初、民営化に対して理解が得られない情勢でありましたが、保護者説明会や地元自治会などへの説明会を重ねる中で、20年4月から3か年で5保育所を民営化する目標を達成できる見込みです。また、屋島ファミリーホームや庵治ほっとびあんについて、20年度から公募による指定管理者に管理運営を委託することとしたほか、基本健康診査における自己負担金の設定、合併町の保育料の統一、国民健康保険事業・老人保健事業におけるレセプト点検の充実強化により、一定の成果を挙げることができました。</p>	
	<p>【課題】</p> <p>課題としては、民営化や指定管理者制度見直しのうち、取組が予定より遅れているものがあり、今後、早急な対応が必要となっている状況です。</p>	
	今年度(20年度)の取組方針	
	<p>人口が減少し、少子・高齢社会が急速に進行する中、健康福祉部が抱える課題は沢山ありますが、行財政改革計画に掲げる取組項目(61件)が達成できるよう、積極的に取り組んでおります。</p> <p>なお、今年度の個別・具体の項目として、一部遅れているものがある民営化や指定管理者制度見直しについて、重点的に取り組むとともに、特別会計の効率的運営や業務の改善に引き続き取り組んでいきます。</p>	

平成19年度 実績報告

病院部長

田中 義夫



部局名	病院部		
正規職員数	所管課数		
499 人	4 課	室	9 係

1. 所掌事務

(1) 病院事業に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
① 3病院の経営健全化の取り組みを一層進めます。 ② 市立病院を統合・再編し、病院運営の効率化を図ります。	目標達成度		
	取組項目 5件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済 3件	歳入 93,201千円	達成 3件
	着手済 2件	歳出 4,930千円	おおむね達成 1件
未着手		ある程度達成	
中止	計 98,131千円	やや下回っている	
未到来		かなり下回る 1件	
		全く出来なかった	
成果と課題			
【成果】			
病院事業の効率的な運営に向けた種々の取組みを実施し、施設基準の積極的運用や薬品・診療材料等共通物品等の購入価格統一による効率化など、一定の成果は挙げられましたが、経営の健全化が図れるまでには至っていません。			
【課題】			
総務省から「経営の効率化」など3つの視点に立った取組みを一体的に推進する、「公立病院改革ガイドライン」が示されており、さらなる経営の効率化に取り組む必要があります。			
今年度(20年度)の取組方針			
高松市民病院あり方検討懇談会からの提言を尊重するとともに、市議会や有識者等で構成する「新病院基本構想検討懇談会」等の御意見などを踏まえて、高松市民病院と香川病院を統合し、塩江病院を附属医療施設とする高松市新病院基本構想を策定します。			
また、「公立病院改革ガイドライン」に基づく、病院改革プランをとりまとめ、病院経営の健全化に取り組めます。			

平成19年度 実績報告

環境部長

池尻 育民



部局名	環境部			
正規職員数	所管課数			
237 人	7 課	2 室	26 係	

1. 所掌事務

<p>(1) 廃棄物の処理および清掃に関する事項 (2) 環境保全に関する事項 (3) その他環境衛生に関する事項</p>

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)	
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]	
<p>① 事務事業の総点検により、市民・事業者との協業を進め、業務の合理化や効率化に努めます。</p> <p>② 市民サービスの向上と業務の改善の観点から、合併地区のごみ収集体制の統一や粗大ごみ受付システムの改善、高齢化社会に対応する収集方法の検討など、業務の改善を進めます。</p>	目標達成度	
	取組項目 27件	
	<p>【取組・進捗状況】</p> <p>実施済 16件 着手済 10件 未着手 中止 1件 未到来</p>	<p>【効果額】</p> <p>歳入 126,570千円 歳出 241,207千円 計 367,777千円</p>
		<p>【目標達成度】</p> <p>達成 13件 おおむね達成 5件 ある程度達成 5件 やや下回っている 1件 かなり下回る 2件 全く出来なかった</p>
	成果と課題	
	<p>【成果】</p> <p>平成19年度においては、資源物売り払い方法の見直し等による収入の増加、公共事業の見直しによる事業費の削減と特定財源の確保等に取り組み、効果額目標を上回る成果が得られました。</p> <p>また、27の実施項目全てに取り組み、特に合併協議事項の20年度からのごみ収集体制の統一については、説明会の開催等により合併地区住民の理解が得られました。</p> <p>※ 効果額目標 266,816千円 → 実績367,777千円(138%)</p> <p>戦略的取組のうち、契約等の見直しや公共事業の見直しなどの事務事業の改革により、目標効果額を上回る成果が得られました。</p> <p>事務事業の改善のうち、県の制度改正が必要なものについて県との協議を行いました。合意が得られないため中止としました。</p> <p>その他の項目についても、概ね当初の目的を達成できています。</p>	
	<p>【課題】</p> <p>回収物の搬出業務の見直しについては、次期最終処分場整備等との関係から、南部クリーンセンター内処分場を延命させるため、当面、現在の搬出業務委託を継続する必要があります。</p> <p>また、指定管理者の導入については、環境プラザの指定管理者として業務を受託できる団体が現在のところ見当たらないため、当分の間は導入を見送り、この間に団体の育成に努めることとします。</p>	
	今年度(20年度)の取組方針	
	<p>①継続事業については、19年度の成果を継続できるよう再度事業内容等を精査します。</p> <p>②19年度の目標達成度が低い事業については、事業内容を見直し、目標を達成できるよう努めます。</p> <p>③20年度から新たに目標効果額を設定している「合併町の一般廃棄物処理施設の統廃合」、「散水車リースの見直し」など5事業については、目標効果額を達成できるよう、事業を実施します。</p>	

平成19年度 実績報告

産業経済部長
富田 繁



部局名	産業経済部			
正規職員数	所管課数			
110 人	6 課	1 室	19 係	

1. 所掌事務

(1) 商業、工業および労政に関する事項	(2) 農業、林業および水産業に関する事項
(3) 農地に関する事項	(4) 観光に関する事項
(5) 土地改良に関する事項	(6) 競輪に関する事項
(7) 中央卸売市場に関する事項	

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)																																										
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]																																										
	目標達成度																																										
<p>① 高松テルサ、香南楽湯、鬼ヶ島おにの館等においては指定管理業務の見直しを行うとともに、塩江湯愛の郷センターや庵治太鼓の鼻キャンプ場等においては指定管理者制度を導入し、利用の促進と管理経費の縮減を図る。</p> <p>② 財団法人高松勤労者総合福祉振興協会や高松観光コンベンション・ビューロー等の外郭団体について、自主財源の確保と経費節減、サービスの向上など、経営改善指導を行い、自立化を目指す。</p> <p>③ 中小企業勤労者福祉共済事業や競輪事業などの特別会計については、業務の効率化や従業員の縮減等による経費の節減に努める。</p>	<p>取組項目 33件</p> <p>【取組・進捗状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>実施済</td> <td>5件</td> <td>【効果額】</td> <td></td> <td>【目標達成度】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>着手済</td> <td>22件</td> <td>歳入</td> <td></td> <td>達成</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>未着手</td> <td></td> <td>歳出</td> <td>65,875千円</td> <td>おおむね達成</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>中止</td> <td></td> <td>計</td> <td>65,875千円</td> <td>ある程度達成</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>未到来</td> <td>6件</td> <td></td> <td></td> <td>やや下回っている</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>かなり下回る</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>全く出来なかった</td> <td></td> </tr> </table>	実施済	5件	【効果額】		【目標達成度】		着手済	22件	歳入		達成	8件	未着手		歳出	65,875千円	おおむね達成	9件	中止		計	65,875千円	ある程度達成	9件	未到来	6件			やや下回っている	1件					かなり下回る						全く出来なかった	
	実施済	5件	【効果額】		【目標達成度】																																						
	着手済	22件	歳入		達成	8件																																					
未着手		歳出	65,875千円	おおむね達成	9件																																						
中止		計	65,875千円	ある程度達成	9件																																						
未到来	6件			やや下回っている	1件																																						
				かなり下回る																																							
				全く出来なかった																																							
	成果と課題																																										
	<p>【成果】</p> <p>取組・進捗状況、目的達成度とも、一定の成果を挙げています。</p> <p>① 塩江湯愛の郷センター、塩江奥の湯公園および庵治太鼓の鼻オートキャンプ場に指定管理者制度を導入し、利用者サービスの向上と管理経費の縮減を図りました。</p> <p>② 財団法人高松勤労者総合福祉振興協会においては、インターネット宿泊予約の導入と、宿泊料金の見直し、図書室の会議室への転用を行い、事業収入の確保を図るとともに、管理経費の節減に努めました。</p> <p>③ 中小企業勤労者福祉共済の一部事業を外部委託し、窓口受付時間の延長や新規事業の実施などサービスの拡充を図り、会員の満足度を高める中で、人件費の節減にも取り組みました。</p>																																										
	<p>【課題】</p> <p>指定管理者制度導入施設については、平成21年度以降は公募により指定管理者を決定する予定であるため、なお一層の経営改善および自主財源の確保に努めるよう促す必要があります。</p>																																										
	今年度(20年度)の取組方針																																										
	<p>指定管理者制度導入施設については、指定管理者の公募に向け、サービスの向上と施設機能の最大限の活用について再度検討を行うとともに、なお一層の経営改善を促します。</p> <p>着手済項目については、今後、目標達成を目指し進行管理に努めます。</p>																																										

平成19年度 実績報告

都市整備部長
井上 貴義



部局名	都市整備部		
正規職員数	所管課数		
319 人	12 課	1 室	48 係

1. 所掌事務

(1) 都市計画に関する事項	(2) 交通安全対策に関する事項
(3) 道路に関する事項	(4) 河川および港湾に関する事項
(5) 区画整理に関する事項	(6) 建築指導に関する事項
(7) 公園・緑地および自然環境の保護に関する事項	(8) 下水道に関する事項
(9) 住宅および建築に関する事項	

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)	
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]	
<p>行政運営を効率化するうえで、都市整備部の課題である次の項目を重点項目と位置付け、改革を進めます。</p> <p>① 部管理の施設維持管理費の適正化を図るため、土木施設にかかる中長期的な維持管理計画(仮称)の策定に取りかかるほか、市営住宅の保全台帳・修繕計画の作成を実施します。</p> <p>② 公民の役割分担の面から、さらなる指定管理者制度の導入を検討したり、既存の指定管理者業務の見直し検討を開始します。</p> <p>③ 特別会計の透明性の向上や効率的運用を図るため、「下水道事業特別会計の改革」として、地方公営企業法の適用への取組を進めます。</p>	目標達成度	
	取組項目 41件	
	【取組・進捗状況】 実施済 23件 着手済 10件 未着手 0件 中止 1件 未到来 7件	【効果額】 歳入 2,055千円 歳出 386,795千円 計 388,850千円
		【目標達成度】 達成 12件 おおむね達成 5件 ある程度達成 6件 やや下回っている 8件 かなり下回る 1件 全く出来なかった 1件
	成果と課題	
	【成果】 平成19年度は33の項目に取り組み、おおむね順調に成果が得られました。	
	○ 市営住宅の維持管理業務において、団地ごとの個別発注から複数の団地を集約して発注する委託方法に見直し、経費の節減を図りました。	
	○ 高松マイロード事業において、新たに11の団体を道路愛護団体に追加認定し、住民との協働を推進しました。	
	○ 下水道施設の運転管理業務方法を一括委託や性能発注方式に見直すことなどにより、業務の安定化、効率化や、施設維持管理経費の節減を図りました。	
	【課題】 市営住宅等の使用料の収入額が計画額を下回るなど目標達成度の低い項目があり、今後目標の達成に向け、実効性が上がる具体的な対策を検討します。	
	今年度(20年度)の取組方針	
	引き続き取組項目の目標達成に努めるとともに、目標達成度の低い市営住宅等の債権回収については、負担の公平性や応益性の観点からも、さらに収納対策を強化するなど、積極的に取り組みます。	

平成19年度 実績報告

消防局長

高橋 一成



部局名	消防局		
正規職員数	所管課数		
486 人	9 課	室	62 係

1. 所掌事務

(1) 消防に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)	
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]	
	目標達成度	
① 合併に伴い増加した消防屯所を始め、消防車両等の年次整備計画の策定 ② 応急手当普及啓発活動の推進と応急手当指導員の確保 ③ 職員の定員適正化計画の策定 ④ 外郭団体の自主運営化への推進 ⑤ 南消防署建設への取り組み ⑥ 消防職員の研修、派遣、交流の実施と人材育成計画の素案作り	取組項目 6件 【取組・進捗状況】 実施済 3件 着手済 3件 未着手 中止 未到来	【効果額】 歳入 歳出 7,610千円 計 7,610千円
	【目標達成度】 達成 3件 おおむね達成 ある程度達成 3件 やや下回っている かなり下回る 全く出来なかった	
	成果と課題	
	【成果】	
	目標は、おおむね達成できた。 ① 消防屯所・消防車両の年次整備計画を策定しました。 ② 応急手当普及啓発活動の積極的な推進(19年度:160回, 3,676人)ならびに応急手当指導員(6人)の養成を行うとともに、20年度で応急手当指導員2人の再任用を計画しました。 ③ 職員の定員適正化計画を策定しました。 ④ 外郭団体の事務局専従職員の雇用や年間行事計画に沿った自主運営など、団体主導による自主運営が図られ、事務局職員の事務負担の軽減が図られました。 ⑤ 新南消防署建設に係る設計及び南消防署香川分署ならびに東消防署牟礼分署の耐震診断を実施しました。 ⑥ 消防職員の研修、派遣、交流を実施しました。	
	【課題】	
	① 消防屯所等の年次整備計画については、諸状況の変化を踏まえ、毎年度検証するとともに、必要に応じて見直す必要があります。 ⑤ 現南消防署の跡地活用策など、南消防署移転整備に伴い生じる諸課題について、速やかに検討する必要があります。	
	今年度(20年度)の取組方針	
	① 年次整備計画に基づく整備施設について具体的な検討を行います。 ② 応急手当普及啓発の推進と再任用応急手当指導員資格者の効果的な活用を行います。 ③ 職員適正化計画に基づく職員の適正配置を行います。 ④ 外郭団体の自主運営を推進します。 ⑤ 消防防災等のあり方検討委員会の設置、運営を行います。 ⑥ 消防職員の研修、派遣、交流を、効果的に推進するための計画を策定します。	

平成19年度 実績報告

水道事業管理者
稲垣 基通



部局名	水道局		
正規職員数	所管課数		
182 人	6 課	室	19 係

1. 所掌事務

(1) 水道事業に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)	
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]	
<p>H19年度を初年度とする「水道事業基本計画」の施策・取組項目を着実に推進することにより、より安全で安定した持続可能な水道システムの構築を目指します。</p> <p>事務事業の外部委託化・電子化や組織機構の再編、職員数の適正化など経営の効率化を図ります。</p> <p>起債の抑制や水道料金未収金回収の強化など財政の健全化に努めます。</p> <p>広聴広報機能の拡充など開かれた事業運営に努めます。</p>	目標達成度	
	取組項目 19件	
	<p>【取組・進捗状況】</p> <p>実施済 5件 着手済 14件 未着手 中止 未到来</p>	<p>【効果額】</p> <p>歳入 78,614千円 歳出 44,373千円 計 122,987千円</p>
		<p>【目標達成度】</p> <p>達成 8件 おおむね達成 5件 ある程度達成 やや下回っている 3件 かなり下回る 3件 全く出来なかった</p>
	成果と課題	
	<p>【成果】</p> <p>平成19年渇水の影響などにより未達成な項目もありますが、企業債借入額の抑制や水道料金未収金回収の取組強化など、次に掲げる項目をはじめ、殆どのものについて、19年度当初目標を達成しました。</p> <p>① 企業債借入額の抑制 平成18年度に30.0%であった起債充当率を平成19年度には18.3%としました。</p> <p>② 水道料金未収金回収の取組 平成18年度末未収額166,571千円のうち、平成19年度には78,614千円(47.2%)を回収しました。</p> <p>③ 組織機構の見直し お客さまサービスの向上や事業推進体制を強化するため、給水維持室を独立した給水維持課とする組織の再編を図りました。また、下水道事業との統合についての検討に着手しました。</p> <p>④ 外郭団体等の見直し 公民役割分担の観点からの規制改革や公益法人制度改革に対応し、水道事業運営の効率化、お客さまサービスの向上に向けた(財)高松市水道サービス公社の業務内容の見直しおよび組織再編について検討しました。</p>	
	<p>【課題】</p> <p>補助金の見直しにおいて、鉛管引替工事助成金交付制度(補助金)の助成件数が計画目標をかなり下回っていることから、利用促進を含め、積極的に鉛管解消対策に取り組む必要があります。</p>	
	今年度(20年度)の取組方針	
	<p>今年度においても、経営の効率化や財政基盤の強化のため、引き続き、アウトソーシングの推進や職員数の適正化、水道料金未収金回収の強化に取り組むほか、より安全な水の供給のため、鉛管引替工事助成制度の利用促進を図っていきます。</p> <p>また、公益法人制度改革のスケジュールに沿って(財)高松市水道サービス公社の業務・組織の改革を推進するほか、局職員の育成について、局研修所の活用などによる企業職員としての知識・技能の習得のほか、説明能力(対人折衝能力)の向上に向けた実践的研修カリキュラムに取り組みます。</p>	

平成19年度 実績報告

教育部長

松木 健吉



部局名	教育部			
正規職員数	所管課数			
545 人	9 課	1 室	25 係	

1. 所掌事務

(1) 教育委員会の会議に関する事項	(2) 学校教育に関する事項
(3) 社会教育に関する事項	(4) 学校, 社会教育の教育機関に関する事項
(5) 学校給食に関する事項	(6) 文化財に関する事項
(7) 人権教育に関する事項	

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
行財政システムの効率化と財政健全化および職員の意識改革と良質な公共サービスの提供面を重視した取組みを重点に進めます。	目標達成度		
	取組項目 55件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済 20件 着手済 23件 未着手 1件 中止 未到来 11件	歳入 11,686千円 歳出 53,737千円 計 65,423千円	達成 26件 おおむね達成 9件 ある程度達成 4件 やや下回っている 2件 かなり下回る 1件 全く出来なかった 2件
	成果と課題		
【成果】 平成19年度に歳出を削減する実施項目については、高松市生涯学習情報システムをかがわ電子自治体システムへ移行するなど、すべて実施済です。 「外郭団体等の見直し」に掲げた(財)高松市学校建設公社については、平成20年3月をもって清算手続を終了しました。 教育委員会の所掌事務のあり方については、平成20年度からの機構改革とともに、教育委員会組織等の見直しを行いました。 幼稚園のあり方については、懇談会において、意見の取りまとめが行われました。			
【課題】 目標達成度の低い主なものとしては、収入増対策(広告料)における、サンクリスタル高松の平面駐車場フェンスの広告掲載が、市全体の広告掲載方針が定まっていないため未着手となっているほか、菊池寛記念館において、入館者は増加しているものの、観覧料増にはつながっていません。			
今年度(20年度)の取組方針			
歳入の効果額目標が掲げられている実施項目のうち、予定より進捗が遅れている項目については、目標達成に向け、鋭意努力します。 合併協議事項の各項目については、着実に実施します。			

平成19年度 実績報告

市議会事務局長
草薙 功三



部局名	市議会事務局		
正規職員数	所管課数		
20 人	2 課	室	3 係

1. 所掌事務

(1) 議会活動の補助に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
議会交際費の見直し 市議会間の儀礼(年賀状等)の見直し	目標達成度		
	取組項目 2件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済 2件	歳入	達成 2件
	着手済	歳出 3,451千円	おおむね達成
未着手	計 3,451千円	ある程度達成	
中止		やや下回っている	
未到来		かなり下回る	
		全く出来なかった	
	成果と課題		
	【成果】 計画どおり進捗し、19年度の目標は達成できました。 議会交際費については、支出の見直しを行うことにより目標額以上の縮減効果が得られました。 また、儀礼の見直しについては、計画どおり年賀状の見直しを実施するとともに、20年度から予定していた祝電の見直しを一部前倒して実施しました。		
	【課題】 挨拶状・祝電の見直しに当たっては、送付先である四国内・県内市議会の理解が得られるよう、本市の取り組みについて改めて周知する必要があります。		
	今年度(20年度)の取組方針		
	儀礼の見直しのうち、祝電・挨拶状の見直しを計画どおり実施します。		

平成19年度 実績報告

監査事務局長
藤田 正勝



部局名	監査事務局		
正規職員数	所管課数		
10 人	1 課	室	2 係

1. 所掌事務

(1) 地方自治法の規定に基づき、市の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理のほか、市の執行機関の権限に属する事務全般について、法令等に従って適正かつ効率的に処理されているかどうかについて監査を実施する。

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
定期監査および行政監査の実施に併行し、一層、行財政改革に係る事務の監査に取り組みます。	目標達成度		
	取組項目 1件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済	歳入	達成
	着手済 1件	歳出	おおむね達成 1件
未着手		ある程度達成	
中止	計	やや下回っている	
未到来		かなり下回る	
		全く出来なかった	
成果と課題			
【成果】			
概ね当初の目的は達成しています。 各部局の監査実施時に、折に触れ、行財政改革計画に搭載項目の進捗状況等を質すことで、担当部局の喚起を促すことに繋がったと考えています。			
【課題】			
定期監査等における時間的制約の中で、行財政改革計画の搭載項目について、内容の分析等、より深く、踏み込んだ監査の実施が必要です。			
今年度(20年度)の取組方針			
「最小の経費で最大の効果を挙げること」、「組織および運営の合理化に努める」等、地方自治法の趣旨に則って事務事業がおこなわれているかどうか、また、適法性および妥当性の観点に留意しつつ、一層、行財政改革の視点に立った監査に取り組むことにより、各部局の行財政改革推進に寄与したいと考えています。			

平成19年度 実績報告

選挙管理委員会事務局長

久利 泰夫



部局名	選挙管理委員会事務局		
正規職員数	所管課数		
9 人	1 課	室	2 係

1. 所掌事務

(1) 各種選挙の管理執行に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
投票区および投票所の見直しを検討します。	目標達成度		
	取組項目 1件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済	歳入	達成
	着手済 1件	歳出	おおむね達成
未着手		ある程度達成 1件	
中止	計	やや下回っている	
未到来		かなり下回る	
		全く出来なかった	
	成果と課題		
	【成果】		
	平成19年7月に執行された参議院議員選挙の業務終了後に、投票区および投票所の見直しに着手し、実施に向けて取り組みました。		
	ア 投票区の見直しに当たり、合併町の投票区の状況(投票所からの距離、投票所となる施設の状況、選挙人名簿登録者数等)を調査し、不均衡の是正および投票環境の向上について検討しました。		
	イ 他都市の見直し状況について、調査を行いました。		
	【課題】		
	合併後の投票区の見直しにより、投票所が遠くなるなど一部サービスが低下する区域もあることから、市域全体のバランスや公平性なども配慮し配置を見直すとともに、駐車スペースの確保や投票所入口の段差解消など投票しやすい環境づくりにも配慮し、地域とのコミュニケーションを深め意見を聞く中で、選挙人の同意形成に努めます。		
	今年度(20年度)の取組方針		
	投票区・投票所の見直し案を作成し、関係機関等に説明を行い成案を得ます。		

平成19年度 実績報告

農業委員会事務局長

川原 讓二



部局名	農業委員会事務局		
正規職員数	所管課数		
15 人	1 課	室	2 係

1. 所掌事務

(1) 農地転用等および農政活動に関する事項

2. 取組目標と実績(総括的事項)

計画策定時	取組実績の評価(部局評価)		
	平成19年度 [<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 年度末]		
行財政システムの効率化と財政健全化の面を重視した取組みを進めます。	目標達成度		
	取組項目 1件		
	【取組・進捗状況】	【効果額】	【目標達成度】
	実施済	歳入	達成
	着手済 1件	歳出	おおむね達成
未着手		ある程度達成 1件	
中止	計	やや下回っている	
未到来		かなり下回る	
		全く出来なかった	
	成果と課題		
	【成果】		
	塩江町、香川町および香南町の農業経営者協議会等への補助については、合併協議に基づき、補助期間経過後の平成21年度から廃止することとなっています。このため、今年度の縮減額はありますが、予定どおり取り組みました。		
	各協議会と、補助期間経過後の対応を検討するため、平成20年1月に、香南町農業経営者協議会会長と、再度の協議を行いました。		
	【課題】		
	19年3月、香南町農業経営者協議会会長から、21年度以降において、協議会実施事業への職員派遣や事務補助などの支援を要請されましたが、独自で自主的な管理運営をしていただくよう回答しています。		
	なお、合併前に各協議会等が実施していた、簿記記帳講習や経営分析、青色申告決算、確定申告書作成などの研修事業は、18年度から、本市の事業に組み入れ、実施しています。		
	今年度(20年度)の取組方針		
	農業経営者協議会等への補助は、平成21年度から廃止しますが、合併時の調整方針により、その後の対応について、改めて検討します。		